



2026年度農林水産省・文部科学省後援

日本農業技術検定

試験日

第1回

7/4_土

第2回

12/5_土

応募期間

第1回 4月17日_金～ 5月21日_木
第2回 9月28日_月～ 10月22日_木

受験級

第1回 3級 2級
第2回 3級 2級 1級



東京都立園芸高等学校の皆さん

学習の成果を発揮しよう!

進学や就職に向けて農業知識のスキル向上を!

日本農業技術検定は、農業の知識や技術の習得水準を評価して、教育研修の効果を高めることを目的とした全国統一の農業専門の試験制度です。就農、農業系大学への進学、農業法人・関連企業への就業をめざす学生や社会人など、すでに41万人が受験しています。

高校で学び身に付けた農業の実践的知識の成果として、農業技術検定の資格取得に取り組みましょう。進学や就職に向けたスキルアップにつながり、農業の資格が将来の可能性を大きく広げます。

実施主体

日本農業技術検定協会 (事務局：一般社団法人 全国農業会議所)
<https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>





日本農業技術検定 概要

第1回

2026年7月4日(土)

3級 10:00~10:40 (40分)

2級 11:10~12:10 (60分)

応募期間

第1回 4月17日(金)~ 5月21日(木)

第2回 9月28日(月)~10月22日(木)

試験会場

一般受験は東京・大阪等各地の指定会場

団体受験は試験実施団体の準備・提供した会場

第2回

2026年12月5日(土)

3級 10:00~10:40 (40分)

2級 11:10~12:10 (60分)

1級 13:00~14:30 (90分)

受験料(税込)

	一般受験	団体受験	団体受験 (学生割引)
3級	3,140円	2,620円	1,570円
2級	4,190円	3,350円	2,090円
1級	5,240円	4,190円	2,620円

※複数級受験割引=学科の「3級と2級」又は「2級と1級」を同一検定日に受験の場合、受験料を1,000円割引。

【2025年度優秀表彰団体(農業高等学校の部)】

(3級)最優秀団体:青森県立名久井農業高等学校、東京都立園芸高等学校、**優秀団体:**北海道真狩高等学校、秋田県立能代科学技術高等学校、山形県立庄内農業高等学校、栃木県立宇都宮白楊高等学校、千葉県立葉園台高等学校、東京都立農業高等学校、神奈川県立中央農業高等学校、富山県立南砺福野高等学校、長野県佐久平総合技術高等学校、長野県上伊那農業高等学校、長野県下伊那農業高等学校、岐阜県立岐阜農林高等学校、岐阜県立恵那農業高等学校、静岡県立小笠高等学校、愛知県立安城農林高等学校、大阪府立農芸高等学校、兵庫県立農業高等学校、岡山県立高松農業高等学校、佐賀県立伊万里実業高等学校

(2級)最優秀団体:愛知県立安城農林高等学校、**優秀団体:**北海道帯広農業高等学校、埼玉県立熊谷農業高等学校、東京都立農業高等学校、東京都立園芸高等学校、東京都立農産高等学校、東京都立瑞穂農芸高等学校、神奈川県立相原高等学校、新潟県立加茂農林高等学校、岐阜県立加茂農林高等学校、静岡県立静岡農業高等学校、兵庫県立農業高等学校、島根県立出雲農林高等学校、宮崎県立高鍋農業高等学校

●本検定の資格は、一定の農業に関する実務的知識を習得していることの証明になります。また、全国農業高等学校長協会が主催する「アグリマイスター顕彰制度」の上級資格認定の要件に本検定が選ばれています。

試験方法

[3級] 学科試験のみ

[2級] 学科試験+実技試験

[1級] 学科試験+実技試験

3級 試験科目	農作業の意味がわかる入門レベル	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農業基礎として共通30問 ■ 「栽培系」「畜産系」「食品系」「環境系」から1科目選択で20問。ただし、「環境系」は、環境共通10問と3分野(造園、農業土木、林業)の各10問から1分野選択 ■ 四者択一のマークシート方式による計50問
	主な受験対象: 農業高校生	
2級 試験科目	農作物の栽培管理等が可能な基本レベル	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農業一般として共通10問 ■ 「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問 ■ 五者択一のマークシート方式による計50問
	主な受験対象: JA営農指導員・大学生	
1級 試験科目	農業の高度な知識・技術を修得している実践レベル	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農業一般として共通20問 ■ 「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問 ■ 五者択一のマークシート方式による計60問
	主な受験対象: JA営農指導員・大学生	

学科試験 問題例	【3級「共通」設問】 マルチングの効果の説明として、最も適切なものを選びなさい。 ①作物の着花数を大幅に増やすことができる。 ②土壌の水分を維持することができる。 ③酸性の土壌を改良することができる。 ④土壌の土性を変えることができる。	【2級「共通」設問】 農産物や食品の生産から加工・処理、流通、販売までの過程を記録して、食品などのゆくえの追跡や出所を確認できるシステムとして、最も適切なものを選びなさい。 ①ポジティブリスト ④GAP ②HACCP ⑤トレーサビリティ ③フードチェーン
	【正解】② 【解説】 マルチングをすることで、土壌の水分蒸発を防ぎ、地温の調節、雑草の抑制、肥料の流亡を防いで土壌の団粒構造を維持し、雨水による茎や葉の汚れを防いで病害虫の発生を抑える効果がある。	【正解】⑤ 【解説】 わが国では2000年代のBSE問題や食品産地偽装事件を契機として食品に関するトレーサビリティ法が整備されている。

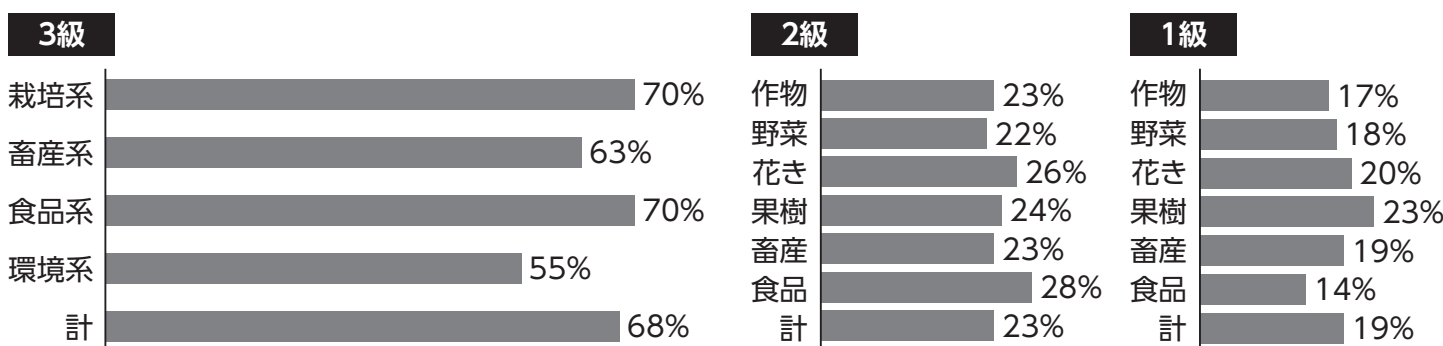
日本農業技術検定の受験実績

(受験者数
合格率)

①全体受験実績(2020～2025年度)

	3級	2級	1級	合計
2020年度	18,790人(66%)	3,015人(21%)	206人(7%)	22,011人(59%)
2021年度	20,939人(66%)	5,908人(23%)	265人(5%)	27,112人(56%)
2022年度	17,932人(63%)	5,024人(21%)	243人(13%)	23,199人(54%)
2023年度	17,573人(66%)	4,447人(23%)	261人(10%)	22,281人(57%)
2024年度	17,984人(65%)	4,580人(23%)	278人(12%)	22,842人(56%)
2025年度	17,251人(68%)	4,404人(23%)	261人(19%)	21,916人(58%)

②科目別合格率(2025年度)



③合格基準

[3級] 100点満点の原則60%以上

[2級] 100点満点の原則70%以上

[1級] 120点満点の原則70%以上

実技試験

(2級、1級試験では学科のみの受験も可能です。学科試験合格者には学科試験合格証明書が交付されます。実技試験までご希望の方は以下をご参照ください)

①2級実技試験免除

2級実技試験(ほ場での農業機械についての実地検定)の希望者は11月に受験の機会があります。農業系の学校(農業高校、農業大学校、大学等)での所定の農業機械等の農場実習、農業経験(JAの営農指導経験を含む)1年以上、2級実技試験免除規定に指定する農業用機械・食品加工の2機種(工程)以上の講習を修了していれば免除が可能となります。

2級の団体受験の場合は、学校(団体)としての2級実技免除手続きをお勧めします(最高5年間有効)。具体的な手続きは本検定ホームページをご覧ください。

※農業機械の実習証明に必要な講習会については、本検定ホームページをご参照ください。

②1級実技試験免除

1級実技試験(12月の1級学科試験と同日時に実施)は1級学科試験合格者の希望により受験が可能です。農業系の学校等での農場実習等4単位取得者又は2年以上の営農実務経験を有する方は免除が可能となります。詳細は本検定ホームページをご覧ください。

申込方法

お申し込みは
ホームページから

▶ <https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>

①一般受験

個人がインターネットで申し込む場合は、申込方法の「一般受験」画面から申し込んでください。

雇用就農資金支援対象の雇用就農者は、都道府県農業会議が受験者を取りまとめてインターネットで申し込みます。

※受験料の振込先口座番号は受験者(団体)別になっており、毎回変わります。所定の振込口座へ、応募期間内に受験料をお振込みください。

②団体受験

学校・JA・農業法人など要件(受験者5名以上、試験会場を提供、試験官1名以上担当など)を満たす実施団体がインターネットで申し込む場合は、申込方法の「団体受験」画面から申し込んでください。

テキスト・参考書 (購入方法などの詳細は本検定ホームページをご覧ください)

テキスト・参考書を活用して、①過去問題集を解いて出題傾向をつかむ。②過去問題集の解説やテキスト、高等学校農業用教科書で問題を確認する。③自分の苦手な領域を重点に②の確認を行う。④類似した出題もあるので過去問題集を何度も学習する—などの勉強方法も効果的です。

2026年版
日本農業技術検定
過去問題集
(2級・3級)
好評販売中!

農業技術学習の
スタンダード!

日本農業技術検定
2級テキスト
(改定新版)

内容を拡充して
2分冊で刊行
絶賛にて発売中

3級

- (1) 2026年版過去問題集3級 (発行) 全国農業会議所
*2023年度、2024年度、2025年度試験問題6回分を収録
- (2) 日本農業技術検定3級テキスト (発行) 全国農業高等学校長協会
- (3) 文部科学省検定教科書 高等学校農業用 (発行) 教科書出版社

2級

- (1) 2026年版過去問題集2級 (発行) 全国農業会議所
*2025年度試験問題2回分を収録
- (2) 日本農業技術検定2級テキスト(改訂新版)注 (発行) 全国農業会議所
- (3) 文部科学省検定教科書 高等学校農業用 (発行) 教科書出版社

1級

- (1) 1級学科試験問題…日本農業技術検定協会(全国農業会議所)
*2023、2024、2025年度試験問題、年度ごとに実費販売
- (2) 日本農業技術検定1級参考図書…農業関係出版社

*1級試験問題は過去問題の出版物はありません。ホームページをご覧の上、本検定協会事務局宛にメールにてご連絡ください。実費でコピーして送付いたします。

*テキスト・参考書については、それぞれの発行元にお問い合わせください。 全国農業高等学校長協会 TEL.03-5357-1666
注)2級テキスト(改訂新版)は2分冊(I 農業一般・作物・野菜、II 農業一般・花き・果樹・畜産・食品)で、発行は全国農業会議所です。

高校での団体受験の取り組み

東京都立園芸高等学校

生徒の自主性を育てて 先生と一丸で検定を推進

東京都立園芸高等学校では農業知識の定着を促すために、生徒の学習の理解度を測る指標の一つとして日本農業技術検定を活用し、毎年7月の検定には2年生が“全員3級合格”をめざして取り組んでいます。

園芸や動物、食品の専門学科の授業は栽培や飼育などの実習が中心で、その理解と習得には基礎知識が必要となるため、「日本農業技術検定は生徒が授業で学んだ内容をあらためて振り返るよい機会になっています」と担当の先生は話します。専門学科ごとに推奨検定がある中で、各学科共通して取り組む検定の一つとして日本農業技術検定が選ばれています。

授業には検定のテキストを取り入れ、検定に向けては生徒の自主性をはぐくむことを重点にしています。先生同士で情報交換して問題の傾

向や対策を研究し、独自に教材を作る先生もいて、生徒の検定合格を手助けしたいという先生方の取り組みが代々引き継がれているのも特徴的です。また、生徒から「検定の受験勉強したことが実習にでるとうれしい」という声があり、2級合格の生徒も「友達と放課後に過去問題を出し合い、お互いに教えあったことが記憶に残っていました」と話しており、生徒の自主性が育ち学習意欲の向上につながっています。

先生と生徒とが一丸となり日本農業技術検定に取り組むことで、同校は毎年度に優秀な実績をおさめています。2025年度には141人が3級を受験して合格率97%という高い成績をあげて、3級の最優秀団体として表彰されました。また、3級を合格した生徒102人が2級に挑戦して29人がみごとに合格して、2級の優秀団体にも選ばれています。

同校では、今後も日本農業技術検定を受験活用して、生徒が幅広い視点で農業を理解することができるように取り組みを続けていくことにしています。

私たちが応援しています! — 日本農業技術検定への協賛企業・団体



お問い合わせ

日本農業技術検定協会 (事務局：一般社団法人 全国農業会議所)

〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8 中央労働基準協会ビル2階
TEL: 03-6910-1126 FAX: 03-3265-5140 e-mail: kentei@nca.or.jp

日本農業技術検定協会
構成団体

(一社) 全国農業協同組合中央会、全国町村会、全国農業高等学校長協会、全国農業大学校協議会、全国農学系学部長会議、全国大学附属農場協議会、(公社) 日本農業法人協会、(一社) 全国農業改良普及支援協会、(公財) 農民教育協会、(公社) 国際農業者交流協会、(一社) 日本農業機械化協会、(一社) 全国農協観光協会、(一社) 農山漁村文化協会、(一社) 全国農業会議所【事務局】